

事務連絡(安-2019-48)

2019年 12月19日

(配布先)

施工担当部署長・建設所長・設備部長
副部長、副所長、統括工事長(建築・土木)
安全長・安全主任
S・BLC関西社
関西支店取引業者災害防止協議会

関西支店

安全環境部長



【紙回覧】 転倒災害の防止について(要請)

安全環境本部安全部長より“要請”がありましたので連絡します。

全社において今年、3件の転倒による休業4日以上労働災害が、立て続けに発生しました。(別添1～3)


12月17日の防水工の労働災害は関西支店管内の作業所で発生したものであり、今年1月10日には、朝礼会場へ向かう途中の型枠解体工が、凍結した水溜りで転倒して膝を骨折する休業4日以上労働災害が発生しています。

メインの作業通路では、段差を無くしたり段鼻の表示を行って「見える化」を行う等の対策をとっていただいておりますが、全ての段差に対応する事は不可能と考えます。作業所においては、躓きや凍結で滑って転倒することがないように、常に危険を予知し、対策を講じるようにしてください。添付資料を参考に安全意識の向上を図り、同種災害の防止を宜しく願います。

以 上

(配布先)
部門安全環境部長

事務連絡 19-37
令和元年12月18日

安全環境本部
安全部長 

転倒災害の防止について（要請）

転倒による休業4日以上災害が次のとおり連続で発生しました。

発生日	職種	年齢	発生状況
13日 (金)	防水工	67	【別紙1】ホースの片付け中に床段差に躓き転倒 (右橈骨遠位端骨折 休業見込日数12日)
16日 (月)	造作大工	64	【別紙2】木材運搬中に台木に躓き転倒 (左上腕骨骨幹部骨折 休業見込日数180日)
17日 (火)	防水工	41	【別紙3】植込みから出る際、立上りとの段差に躓き転倒 (左手首剥離骨折 休業見込日数14日)

いずれの災害も段差等で躓いたものですが、冬季には凍結した路面における滑りによる転倒災害も懸念されます。

つきましては、添付資料等を参考に、段差等による躓き転倒災害リスクの高い場所を見える化するなど注意喚起を図るとともに、凍結等による転倒災害防止対策に遺漏なきよう作業所関係者に周知願います。

以上

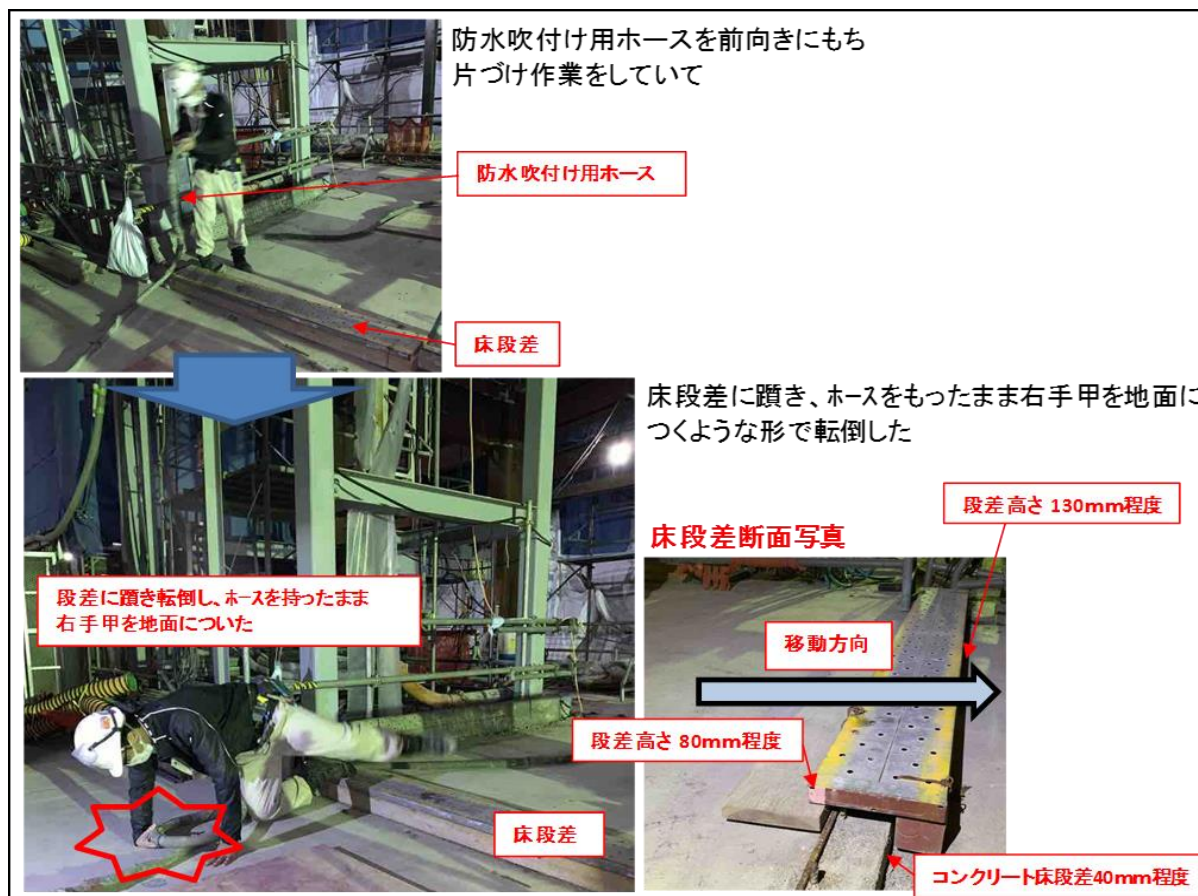
<添付資料>

- ① 厚生労働省他「STOP! 転倒災害プロジェクト」
- ② 東京労働局他「STOP! 積雪や凍結による転倒」

(転倒) ホースの片付け中に床段差に躓き転倒

◇ 発生日時 : 2019年12月13日 (金) 午後5:10分頃

◇ 被災者 : 防水工 67 歳 (所属 2次) 経験 20年10ヶ月



【発生状況】

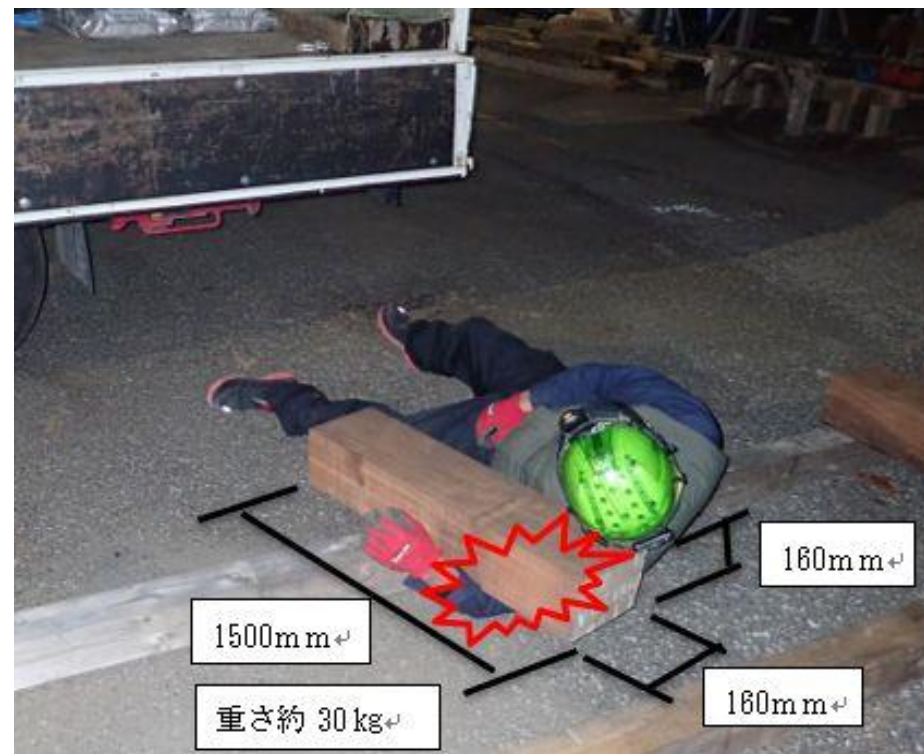
屋上防水作業(超速硬化ウレタン防水)が終了し、エレベーターシャフトを利用し屋上まで上げていた吹付け用ホースの片づけをしていたが、1階の立上差筋を養生していた足場板+端太角の段差に躓き転倒した際に、ホースを持ったまま右手甲を地面に突いた。

(右橈骨遠位端骨折) (休業見込日数 12 日)

(転倒) 木材運搬中に台木に躓き転倒

◇ 発生日時 : 2019年12月16日 (月) 午後11:20分頃

◇ 被災者 : 造作大工 64 歳 (所属 2次) 経験 31年



【発生状況】

資材置き場で木材の積み込み作業中、台木に足を引っ掛け転倒した際に、担いでいた木材(約30kg)が左腕に落ちてきて負傷した。

(左上腕骨骨幹部骨折) (休業見込日数 180 日)

(転倒) 植込みから出る際、立上りとの段差に躓き転倒

◇ 発生日時 : 2019年12月17日 (火) 午前5:30分頃

◇ 被災者 : 防水工 41 歳 (所属 4次) 経験 12年11ヶ月



【発生状況】

建物1階の南面外壁で窓ガラスの養生材を撤去したあと、植込みを出ようとした際に立上りとの段差で躓いてとっさに手を突き、左手首を負傷した。(右手に荷物を持っていた)

(左手首剥離骨折

)(休業見込日数 14 日)



STOP! 転倒災害

プロジェクト

あなたの職場は大丈夫？

転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート



チェック項目		<input type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果は、いかがでしたか？

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！ 次頁の「見える化」も効果的です!!



まずは、職場内で情報共有

転倒危険場所を見える化しましょう！

転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への共有を図ることが大切です。危険場所に下のステッカーの掲示を行うなど、**転倒の危険を見える化しましょう！**

※下のステッカーは、「STOP！転倒災害プロジェクト」のホームページからもダウンロードできます。

切り取り線

転倒危険！



コメント

切り取り線

2月・6月は重点取組期間です!!

STOP! 転倒災害プロジェクト

厚生労働省と労働災害防止団体では、**転倒災害**を撲滅するため「**STOP! 転倒災害プロジェクト**」を推進しています。 [STOP! 転倒](#) [検索](#)

事業者の皆さまは、職場の**転倒災害防止対策**を進めていただくとともに、プロジェクトの重点取組期間（2月、6月）には、チェックリストを活用した**総点検**を行い、安全委員会などでの調査審議などを経て、**職場環境の改善**を図ってください。

転倒災害の特徴

特徴1 転倒災害は最も多い労働災害!

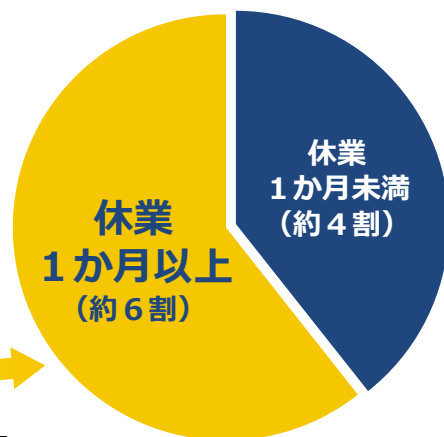
休業4日以上労働災害、約12万件のうち、転倒災害は**約2.6万件**と最も多く発生しています。

特徴2 特に高齢者で多く発生!

高齢者ほど転倒災害のリスクが増加し、55歳以上では55歳未満の**約3倍**リスクが増加します。

特徴3 休業1か月以上が約6割!

転倒災害による休業期間は**約6割が1か月以上**となっています。



「平成27年転倒災害による休業期間の割合」 労働者死傷病報告 (厚生労働省) より作成

転倒災害の主な原因

▶転倒災害は、大きく3種類に分けられます。皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？

滑り	つまずき	踏み外し
 <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none">床が滑りやすい素材である。床に水や油が飛散している。ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。	 <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none">床の凹凸や段差がある。床に荷物や商品などが放置されている。	 <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none">大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。

転倒災害防止対策のポイント

▶転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。

4 S (整理・整頓・清掃・清潔)	転倒しにくい作業方法	その他の対策
<ul style="list-style-type: none">歩行場所に物を放置しない床面の汚れ (水、油、粉など) を取り除く床面の凹凸、段差などの解消	<ul style="list-style-type: none">時間に余裕を持って行動滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行足元が見えにくい状態で作業しない	<ul style="list-style-type: none">作業に適した靴の着用職場の危険マップの作成による危険情報の共有転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください!
「STOP! 転倒災害プロジェクト」

[STOP! 転倒](#) [検索](#)

STOP!

積雪や凍結

による転倒

冬季も

STOP! 転倒災害

プロジェクト



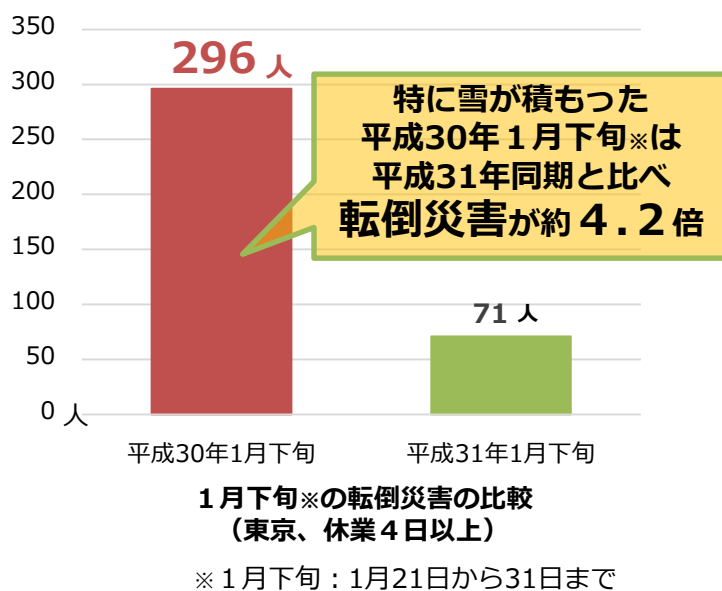
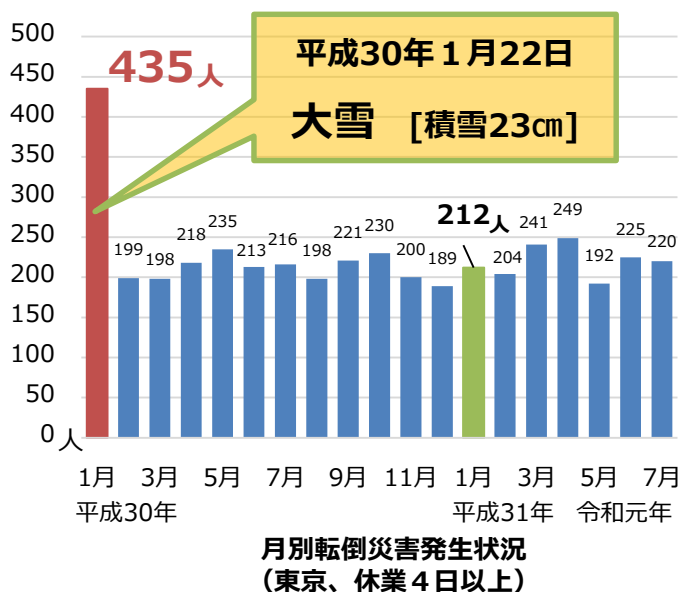
～トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心～

東京労働局・労働基準監督署

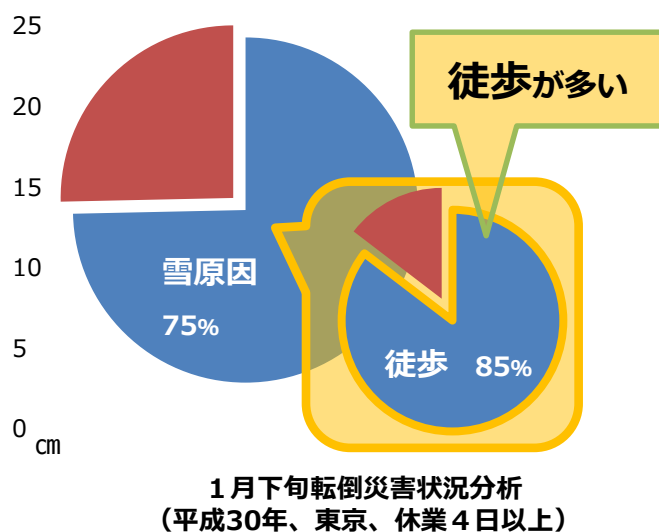
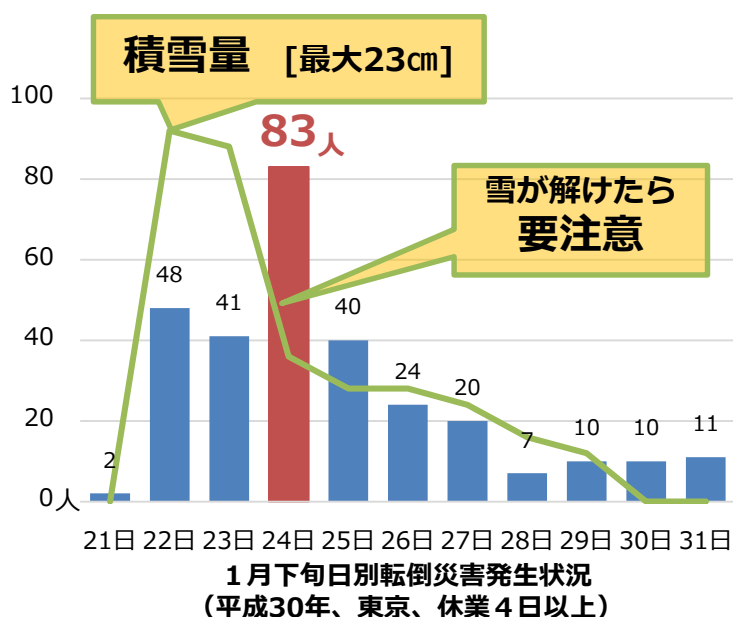
都内における転倒災害の発生状況

(平成31年・令和元年データは10月末時点での速報値)

- 平成30年1月22日に、平成26年豪雪以来4年ぶりの積雪23cmを記録し、積雪・凍結を原因と思われる転倒災害が大幅に増えました。
- 冬季の転倒災害の発生は、天候による影響を大きく受け、積雪・凍結により多発します。



- 最も転倒災害が多かった時期は、雪が降り始めた日ではなく、降雪から2日後の雪が解け始めた日でした。



- 雪が解け始めたら、路面凍結の可能性が高く、屋外の移動・作業は、特に注意が必要です。

地域の気象状況等を踏まえ、降雪が本格化する前に、次の事項を準備しましょう。

ポイント 1

気象情報の活用によるリスク低減の実施

- 大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築
- 警報・注意報発令時等の対応マニュアルの作成、関係者への周知
- 気象状況に応じた出張、作業計画等の見直し

ポイント 2

通路、作業場所の凍結等による危険防止の徹底

- 屋外通路や駐車場における除雪、融雪剤の散布による安全通路の確保
- 事務所への入室時における靴裏の雪、水分の除去、凍結のおそれのある屋内の通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策の実施
- 屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成、関係者への周知
- 凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法、作業方法の見直し
- 凍結した路面や凍結のおそれがある場所（屋外通路や駐車場等）における転倒防止のための滑りにくい靴の着用の勧奨

ひと休み

滑りにくい靴とは？

転倒防止には、靴選びが非常に重要です。靴を選ぶにあたっては、概ね右の5つの基準があります。

今回は、その中の「靴底と床の耐滑性のバランス」について考えてみましょう。

一口に滑りにくい靴と言ってもすべての路面に対応できる靴はありません。「水・油用」、「氷上用」、「粉体上」などの目的によりその対策は異なるためです。市販されている耐滑靴の多くは「水・油用」で、雪や氷の上では滑ることがあるため、凍結した路面がある冬季の屋外使用では注意が必要となります。

凍結した路面には、ピン・金具付きや靴底が柔らかく深い溝のある靴が効果的です。昨今は、ゴムバンドやマジックテープなどで靴底に固定する着脱可能な「靴用アタッチメント」もあるため、簡単に冬季用の靴を用意できます。

これを機に働く時の靴底を確認してみましょう。

転倒防止の靴の5つの選定基準



事前の準備は、安全委員会の委員等による職場巡視を実施し、下のチェックリスト等を活用して設備等の点検を行い、必要な改善や労働者の意識啓発を行いましょ。

チェック項目（冬季用）

1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいますか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>
8	ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>
10	天気予報に気を配っていますか	<input type="checkbox"/>
11	時間に余裕をもって歩行、作業を行っていますか	<input type="checkbox"/>
12	駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などにも注意していますか	<input type="checkbox"/>
13	職場の危険マップ、適切な履物、歩行方法などの教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>

冬季前に
転倒災害防止対策を
行いましょ！

冬季も

STOP! 転倒災害
プロジェクト

東京労働局では、



Safe Work
TOKYO 2019

を展開しています。

労働災害の防止に関する様々な情報を掲載しています。

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/topics/2017/9_00002.html

